

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやいんどサポート「かのん」		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員がお子様の情報共有や支援の方向性を共通認識として持ち、支援に取り組んでいる。	支援前に職員間で打ち合わせや話し合いの場をほぼ毎日設けており、お子様の情報共有や支援の方向性を確認したり、変更があったときには速やかに職員一同対応できるよう組んでいる。	日々の打ち合わせや話し合いでの情報共有は継続していき、お子様の得意なことや好きなことの情報を得ながらお子様たちが楽しそう、やってみたいと思える活動の提供を目指していく。
2	専門職員による支援を行っている。	理学療法士がお子様の日常生活動作の分析をし、必要な体の動かし方や動作の練習を活動に取り入れている。	全職員が同じ動作の練習の仕方や活動を行えるよう、職員間で支援方法を学ぶ機会を設けていく。
3	活動が固定化されないように工夫している。	お子様がいつでも楽しく活動ができるよう、プログラムが決まったものにならないように職員間で活動の振り返りをして確認したり、季節の行事を取り入れた支援を行っている。	全職員が同じ動作の練習の仕方や活動を行えるよう、職員間で支援方法を学ぶ機会を設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の職員間の周知が徹底されていない。	中途採用者がいるなどでマニュアルの配布等が徹底されていない。	各種マニュアルをすべての職員が持ち、いつでも開いて確認できる環境づくりを行う。また、全職員での読み合わせの機会を設ける。
2	児童クラブなどのお子様と交流する機会があまり持たない。	お子様の送迎の際に児童クラブ等に行くことはあるが、交流はない状態。	お子様の状況に合わせて交流の機会づくりについて検討していく。
3			